

[平成20年度普及に移す技術]

[技術名] スプレーギク「リボン」の変異育成系統「ブライトピンクリボン」「ライトピンクリボン」

[要 約] イオンビームを照射した葉片から再分化して得られた変異系統から、「ブライトピンクリボン」と「ライトピンクリボン」を選抜した。「ブライトピンクリボン」は、花色が鮮紫ピンクで長幹種、「ライトピンクリボン」はピンク白の花色で、「リボン」より薄い。

[キーワード] イオンビーム、スプレーギク、リボン、育成系統

[担当] 福井園試・花き研究グループ

[連絡先] 電話 0770-32-0009、電子メール [enshi@pref.fukui.lg.jp](mailto:enshi@pref.fukui.lg.jp)

---

[背景・ねらい]

同様な肥培管理で開花する、新しい鮮やかな花色の品種育成を目的に、スプレーギク「リボン」にイオンビームを照射して得られた変異系統から、鑑賞価値が高く、各作型で適応でき、県内各地での栽培が容易な系統を育成する。

[技術の内容・特徴]

1. 花色は「ブライトピンクリボン」が鮮紫ピンク、「ライトピンクリボン」がピンク白であり、対照の「リボン」の「淡紫ピンク」の花色より、それぞれ濃色と淡色の選抜系統である（写真1）。
2. 季咲き栽培での開花日の年次間差は、「ブライトピンクリボン」と「ライトピンクリボン」とともに、「リボン」と同等で、10月下旬に開花する。「ブライトピンクリボン」の切花長は、安定して長い（図1）。
3. 県内3ヶ所の現地圃場での栽培結果から、栽培が容易で、「リボン」とほぼ同時期に開花する系統である（表1）。
4. シェード栽培、露地季咲き栽培、電照栽培の各作型で、「ブライトピンクリボン」と「ライトピンクリボン」は、対照の「リボン」と同時期に開花する。切花品質は「ブライトピンクリボン」が対照より優れ、「ライトピンクリボン」が対照と同等である（表2）。

[技術の活用面・留意点]

1. 季咲き栽培では、「ブライトピンクリボン」は草丈が伸長しやすいので、定植日は対照の「リボン」より1～2週間遅らせることが可能である。
2. 肥培管理等は対照品種の「リボン」に準じる。
3. 2系統ともに現在増殖中であり、生産地の希望に応じ親株として供給してゆく。

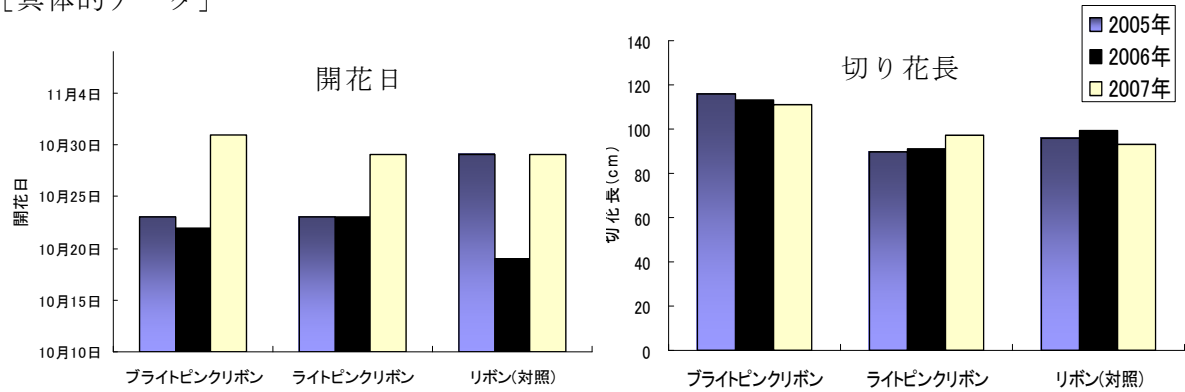
[普及計画]

普及目標：作付面積 30 a

普及対象：スプレーギク栽培農家

普及に向けた対応：成果発表会の開催、農林総合事務所等が主催する研修会での情報提供、キク生産組合での実証、栽培マニュアルの作成、フィールドレポート・HPへの掲載

[具体的データ]



2005: 挿芽日7月1日, 定植日7月15日, 摘心日7月29日, 2006と2007年: 年ともに挿芽日6月30日, 定植日7月14日, 摘心日7月28日

図1 育成系統の開花と切花品質の年次間差



写真1 選抜系統の草姿と花色

a:「ブライトピンクリボン」の花姿  
 b:「ライトピンクリボン」の花姿  
 c:リボン各系統の花姿, 左から「ブライトピンクリボン」「ライトピンク」「リボン(対照)」

表1 現地圃場での開花と切花品質

栽培場所	系統名	開花日	切花長 (cm)	切花重 (g)	節数	茎径 (mm)	花蕾数
あわら市 <sup>z</sup>	ブライトピンクリボン	10月23日	75	63	33	5.6	11
	ライトピンクリボン	10月24日	55	40	32	5.5	10
	リボン(対照)	10月24日	73	58	34	5.9	12
旧宮崎村 <sup>y</sup>	ブライトピンクリボン	10月25日	98	69	27	4.5	20
	ライトピンクリボン	10月24日	76	57	30	4.4	24
	リボン(対照)	10月29日	74	83	37	7.6	33
小浜市 <sup>y</sup>	ブライトピンクリボン	10月27日	116	100	38	6.6	18
	ライトピンクリボン	10月23日	90	73	41	6.1	14
	リボン(対照)	10月20日	61	31	28	4.1	18

<sup>y</sup> 2005年度栽培: 挿し芽日7月1日, 定植日7月15日, 摘心日7月29日

<sup>z</sup> 2006年度栽培: 挿し芽日6月30日, 定植日7月14日, 摘心日7月28日

表2 各作型での開花と切花品質

作型	系統名	開花日	切花長 (cm)	切花重 (g)	節数	茎径 (mm)	花蕾数
シェード栽培 <sup>z</sup>	ブライトピンクリボン	5月5日	77	71	27	7.1	13
	ライトピンクリボン	5月9日	63	49	37	6.2	12
	リボン(対照)	5月11日	67	72	24	7.2	12
露地季咲き栽培 <sup>y</sup>	ブライトピンクリボン	10月26日	80	61	33	6.1	12
	ライトピンクリボン	10月25日	64	45	36	5.6	14
	リボン(対照)	10月31日	67	88	32	7.1	18
電照抑制栽培 <sup>x</sup>	ブライトピンクリボン	11月26日	91	75	39	6.6	14
	ライトピンクリボン	11月27日	71	66	34	6.5	19
	リボン(対照)	11月27日	80	90	29	7.5	19

<sup>z</sup> 2004年度栽培: 挿し芽日1月16日, 定植日1月30日, 摘心日2月13日, 定植~3月14日までは暗期中断, それ以降はシェ

<sup>y</sup> 2004年度栽培: 挿し芽日7月9日, 定植日7月23日, 摘心日8月6日

<sup>x</sup> 2004年度栽培: 挿し芽日8月12日, 定植日8月25日, 摘心日9月9日, 定植~10月7日までは暗期中断

[その他]

研究課題名: 福井オリジナル産品開発育成事業

研究期間: 1997~2007年度

研究担当者: 坂本浩、小森治貴